

龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会会議録

			記録者	スポーツ推進課 荻野 恵美		
供 覧	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主査・係長	グループ員
件 名	令和6年度龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会					
日 時	令和6年6月27日（木）午後2時00分～午後3時50分					
場 所	龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室					
主 催 者	龍ヶ崎市長 萩原 勇					
出 席 者	[委員] 田蓑健太郎会長、山崎伸夫副会長、山田忠雄委員、池田由枝委員、飯島進委員、石川賀杜代委員、木村忠夫委員、青木サヨ子委員、上原正和委員、根岸安里子委員、高野美枝子委員、塚本節子委員、吉野功一委員					
	欠席委員…田畑亨委員、安藤佳子委員、酒井一浩委員、菊地光夫委員、北澤宏委員、太田垣淳一委員、三淵和也委員					
	[市] 足立典生健康スポーツ部長、佐々木英一健康スポーツ部次長 スポーツ推進課…昇一信課長、高野雄次課長補佐、記録者					
傍聴人の数	1名					
会議の内容	議 事 (1) 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の進捗管理について (2) その他					
情報公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由				
	<input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非 公 開	公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）			年 月 日	
<p>下記については、令和6年6月27日（木）に開催した令和6年度龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会の会議録に相違ないことを確認したので署名する。</p> <p style="text-align: center;">会 長 _____</p> <p style="text-align: center;">委 員 _____</p> <p style="text-align: center;">委 員 _____</p>						

	発言の内容（要旨）
事務局	<p>〔開会〕</p> <p>皆さんこんにちは。お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。</p> <p>それでは、定刻となりましたので、只今より令和 6 年度龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会を開会いたします。</p> <p>はじめに、本年 4 月の人事異動により、事務局の職員も変更がありましたので、改めてご紹介いたします。</p>
事務局	〔事務局の紹介〕
事務局	開会に先立ちまして、当審議会の会長であります、田籾会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いします。
田籾会長	〔会長・挨拶〕
事務局	<p>ありがとうございました。それでは着座にて進行させていただきます。</p> <p>続きまして、選出団体の役職交代により新たに委員となられた方をご紹介いたします。小学校体育連盟から大宮小学校木村忠夫委員です。</p>
木村委員	〔木村委員・挨拶〕
事務局	<p>ありがとうございました。新任委員の方についてのご紹介は以上となります。なお、新任委員の任期は龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会条例第 4 条第 1 項の規定により、前任者の残任期間である令和 6 年 11 月 30 日までとなりますのでよろしくお願いします。</p> <p>議事に入る前に 1 点、委員の皆様をお願いいたします。発言する際は必ず席の前のマイクのボタンを押してから発言してください。また発言が終わりましたら、同じようにマイクのボタンを押していただければと思います。</p> <p>それでは会議次第に従いまして議事に移りたいと思います。ここからの議事進行につきましては、龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会条例第 6 条第 1 項の規定により会長をお願いしたいと思います。田籾会長よろしくお願いします。</p>
田籾会長	<p>よろしくお願いします。</p> <p>はじめに、本日の審議会は委員総数 20 名のところ、出席者只今 13 名でございます。委員の過半数が出席されていますので、会議が成立していることを宣言いたします。また、この審議会は龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例により公開となっております。本日は 1 名の傍聴がされております。傍聴される方におきましては、会議中にご静粛をお願いいたします。</p> <p>次に、会議録署名人の指名をさせていただきます。今回は池田委員と青木委員をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
池田委員 青木委員	〔承認〕
田籾会長	<p>よろしくお願いします。お 2 人には会議録が作成され次第、事務局から連絡させていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは早速ですが議事に入ります。議事（1）の「龍ヶ崎市第 3 次スポーツ推進計画の進捗管理について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>(1) 龍ヶ崎市第 3 次スポーツ推進計画の進捗管理について</b></p> <p>〔会議資料に基づき説明〕</p>
田籾会長	<p>はい、ありがとうございました。只今の説明についてご質問又はご意見ございましたらお願いいたします。</p> <p>それでは委員の皆さんがご思案いただいている間に、質問ではありませんが、プロスポーツ等を活用したという項目、政策があったかと思いますが。</p> <p>プロ野球のイースタンリーグ、それから BC リーグとそれはそれでいいんですが、実は、ここ 2 年連続で韓国の尚武（サムム）という、日本では考えられないんですが、軍隊の中に野球部があります。全部で 20 いくつありますが、そのうちの一つが野球部</p>

	<p>です。流通経済大学と尚武は協定を結んでいる関係で、2年連続で野球部が龍ヶ崎で合宿をしました。野球部といいますが、韓国のプロ野球経験者だったり、あるいは現役のプロ野球選手です。韓国には兵役がありますので、一旦兵役に行く。ただ兵役2年行ってる間に、いわゆる軍人としてのトレーニングばかりではなく、野球であれば野球をすることが軍人さんとしての職務であると、そういう特殊なチームがあります。韓国のプロ野球選手がやっていますので非常にレベルが高いです。来年1月又は2月にまた龍ヶ崎で合宿をしたいということはすでに聞いております。非常に有名な監督で、巨人とそれから日ハム、すみませんロッテだったかな、どちらかの2軍と練習試合をしたいということで、すでに巨人は同意をしているということですので、正式に決定しましたらまたご連絡を致します。レベルの高い練習や練習試合を見るいい機会ですので、興味のある子供から大人の方まで、1人でも多くの市民の方が観ることができればと思っています。当然練習ですから入場料は取りませんので。詳細が分かりましたらすぐご連絡致します。</p>
事務局	<p>それではその件も含めて野球というところで少し宣伝させていただきます。今年もイースタンリーグ、茨城シリーズを牛久と連日実施いたします。龍ヶ崎は9月8日(日)になります。イースタンリーグですが、巨人戦ということで、皆様、もし宜しければ是非TOKIWAスタジアム龍ヶ崎に足を運んでいただければと思います。</p> <p>今、先生から尚武についてお話がありました。今回、時期的にスコアボードの改修工事の期間と少し被っているところがありますので、調整してグラウンドについては開放できればしていきたいと考えています。</p>
田蓑会長	<p>はい、ありがとうございます。是非調整していただければと思います。</p> <p>あと、それに伴ってですが、野球だけではなく、様々なプロが来ることにより、龍ヶ崎市民だけではなく、やはり交流人口ということであれば、他の自治体にお住まいの方も来ます。熱狂的なファンは遠くから泊りがけで来るということも今後容易に想像できるわけですが、これまで東京オリンピックの時もそうでしたが、あらゆる場面で宿泊施設がない。龍ヶ崎には、そういうことで、なかなか魅力あるスポーツ大会の誘致なども見送らざるを得ない、そういったことは過去にはあったと思いますが、宿泊について、今現時点で構いませんが何か考えがございでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。スポーツ分野の観点から、なかなか宿泊施設の設置というのは厳しいかなと思っています。ただ、駅前に様々な宿泊施設がありますが、毎週土日になると必ず何処かのスポーツチームが流通経済大学との関係で遠征に来ていているという状況があります。民間施設の需要が増加していき、それに伴って交流人口が増加し、民間施設が潤っていけば、施設も自然と増えていく可能性があるのかなと考えております。</p> <p>あと、プロスポーツという部分で、今シーズン茨城ロボッツと1月26日に、鹿島アントラーズについては5月18日に協定を締結いたしました。こちらについては、龍ヶ崎でホームゲームをやるというのは規模的に厳しいので、鹿島アントラーズは、鹿嶋市の県立カシマサッカースタジアム。茨城ロボッツでしたら水戸市のアダストリアみとアリーナの方で「龍ヶ崎の日」という形で、試合に市民の方を招待します。その時はチケットが安くなったり、又は無料になるケースもありますので、是非この機会に足を運んでいただければと思います。また、ゆくゆくは龍ヶ崎に選手を招いて子供たちと触れ合う機会などもできればいいかなと考えております。以上です。</p>
田蓑会長	<p>はい、ありがとうございました。どうぞ。</p>
青木委員	<p>すみません。まいりゅうコロコロについてですが、スポーツ推進委員の方がかなり努力されて、とても市内に広まってきたのを私も感じています。実際参加して、準備などが少し大変かな、簡単に線引いてできるものではないのかなというところで、ちょっとどうかかなというふうに感じました。</p> <p>3ページ「スポーツ教室等の充実」のところでもニュースポーツについていくつか書いてあります。私が認識不足なのか、知らない名前ニュースポーツがいっぱいあります。まいりゅうコロコロは実際に私も体験したのでわかっていますが、例えば、スナッグゴルフ、タグラグビー、バグジー、ラダーゲッターという少し難しい名前がありますが、どういうゲームと言いますか、運動、スポーツなのか教えてください。</p>

事務局	<p>タグラグビーですが、腰の左右にタグというリボンのようなものを付けて、そのタグを取るとタックルしたことと同じことになります。子供たちは学校で教えてもらって、流通経済大学の学生さんとやっているかなと思います。バグゴはまいりゅうコロコロを利用されたことがあるということで、その時に座布団のようなものがあったかだと思います。名前はビーンバッグと言いますが、バグゴというボールになるものです。ビーンバッグを傾斜したプラスチックの穴の空いた板の上に乗せたり、穴に落として点数を競うアメリカ発祥のニュースポーツになります。</p> <p>先ほどおっしゃっていたラダーゲッターは、時々まいりゅうコロコロ体験会の時に持っていきますが、ヒモでつながっている 2 個のボールをラダーに向かって投げ、ボールがラダーに引っかかるとポイントになります。ボールをバウンドさせてラダーに引っかけてもポイントになります。ラダーは 3 段のはしごのような道具になります。あとは。</p>
青木委員	スナッグゴルフ。
事務局	はい。スナッグゴルフ。少々お待ちください。
事務局	私から説明させていただきます。スナッグゴルフにつきましては、野球の球より少し大きめのボールを使います。ゴルフですとカップの中にボールを入れますが、フラッグを立てて、そこに何打でボールを近づけられるかという競技になります。
青木委員	手でやりますか。
事務局	ゴルフのドライバーより短く、もう少し簡易的なものになります。
青木委員	市民の方には普及していますか。
事務局	スナッグゴルフをはじめ、ニュースポーツにつきましては、クラブ・ドラゴンズさんの方で広めていただいております。色々な種目を体験できる場を設けて、主に子どもたちを対象に普及させていく活動をしています。
青木委員	わかりました。できれば、高齢者が楽しめそうなものがあれば、高齢者の方にも少し活かしてもらおうスポーツになればいいかなと思います。ありがとうございました。
田簗会長	はい。お願いします。
山崎委員	すみません。今のニュースポーツ関係も含めて、一大イベントとして市民スポーツ・レクリエーションまつりがあります。委員の方で様々な形で会場を作っていただき、体験もできるようにしております。一般の方をはじめ、障がいのある方、高齢者の方、誰でもできるというコンセンサスのもとにやっておりますので、ご興味があれば是非。広報等も出ますが、10 月の半ば 2 週目ぐらいに開催されます。市民スポーツ・レクリエーションまつりですと、一気に色々なものが体験できて、1 日楽しめると思いますので、ご興味があればお出かけ頂ければありがたいです。
青木委員	興味はあります。
吉野委員	今のお話を聞いてますと、龍ヶ崎ではグラウンド・ゴルフ。同じような競技で、スナッグゴルフやパークゴルフというのがあります。北海道ではパークゴルフ、鳥取の市内の方にも似たようなものがあります。各地域、地域で同じような競技がありますが、私は一つでいいと思います。他にもニュースポーツがございますので。また違った競技で同じようなものが二つ三つあるとかえって混乱すると、私は考えます。
青木委員	先ほどのお話についてですが、その市民スポーツ・レクリエーションまつりの時に、いろいろなスポーツを見たり、聞いたり、体験できるということですよ。私もかなり興味を持ってりゅうほなど覗いていますが、なかなか目に止まらず、申し訳ありませんが参加したことがありません。知らない方が多いような気がしますが、広報活動についてはどうですか。
山崎委員	よろしいでしょうか。スポーツ推進課を中心に、レクリエーション協会も含め、少年団、あとスポーツ協会、すべての団体が揃ってやっています。広報活動がないと言われると困ってしまいますが、チラシは全戸配布になっています。総合体育館が出来

	<p>てから毎年開催していて、最盛期のときにはかなりの方にお越しいただきました。私はスタッフとして参加していますが、食事の取る時間もないくらいバタバタしている時期もありました。コロナの影響で中止になっていた時期もありますが、昨年からまた開催されました。今年も実施する予定で、10月の12日（土）でしたか。</p>
事務局	<p>10月12日です。</p>
山崎委員	<p>10月12日（土）1日かけてやっております。高齢者、障がいのある方、誰でも参加できます。参加者にはラリーカードを配布し、体験したブースにてスタンプを押し、そのスタンプの数によって多少なりプレゼントもごさいます。年配の方でも体験できるブースもあります。もちろん力がないとできない体力テストなどもあります。年配の方でも十分に楽しめるブースがいっぱいありますので、遠慮なく参加していただければと思います。まだ10月とはいえ暑い時期でもあります。体育館内は涼しく、中だけでも結構な数の体験ブースがありますので、遠慮なく遊びに来ていただいて、どんなものか評価していただければありがたいです。</p>
青木委員	<p>私は今年伺おうと思います。今私はシルバーリハビリ体操の指導しております。イベントを行う場所はアリーナですか。</p>
山崎委員	<p>はい、そうです。アリーナとフィールドです。</p>
青木委員	<p>そうですか。お話を伺って、シルバーリハビリ体操参加者の方に市民スポーツ・レクリエーションまつりのお話をして、行ける方は行ってみようと思いをしようと感じました。少し広報活動やります。</p>
山崎委員	<p>もしイベントの中でやりたいのであれば、まいりゅうコロコロのブースを作っても何の問題もないと思います。</p>
池田委員	<p>（まいりゅうコロコロの）ブースは作ってあります。</p>
山崎委員	<p>我々もブースなど考えていますが、私は実行委員はやっておりませんので一概には言えませんが、スポーツ推進課の方にご連絡頂ければブースとして用意はできると思っています。お願いします。</p>
事務局	<p>先ほどの周知の件ですが、チラシで各戸配布というお話でしたが、広報紙で各戸配布させていただいております。近くなりましたらりゅうほーをご覧いただければと思います。よろしお願いいたします。</p>
吉野委員	<p>よろしいでしょうか。</p>
田籾会長	<p>どうぞ、お願いします。</p>
吉野委員	<p>高齢者に対するニュースポーツが非常に少ないような感じがします。今卓球でも高齢者向けにラージボールがあります。私も昔卓球をやっていて、昔の仲間がすでにラージボールをやっています。通常の卓球のボールより大きく、ラケットは表ソフトというラバーを使うのでボールに回転がかからない。通常の卓球は裏ソフト使う人が多いので、非常に回転がかかります。高齢者にとって通常の卓球では目はついていけない、足がついていけない。ニューライフアリーナ龍ヶ崎では卓球タイムとバドミントンタイムがございますよね。卓球台は同じで、使う球とラケットが違うだけなので、ラージボールが出来る場を作っていただければ、高齢者の方がよりやりやすいかなというふうに感じておりますので、ご検討お願いいたします。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。今の件について、指定管理者のもと検討したいと思います。</p>
石川委員	<p>すみません。卓球タイムについてですが、その中でラージボールをやっている方もいらっしゃいます。卓球タイムは、一応卓球タイムという名前がついていますが、その中でラージボールを持ってきてやっている方もたくさんいらっしゃいます。多分卓球タイムという名前が悪いのかどうかわかりませんが、公式の卓球だけではないです。</p>

吉野委員	そうですか。以前は卓球協会の方が指導していたので、ラージボールはなかったかと思います。
石川委員	ラージボールは取手が盛んでした。最近龍ヶ崎でもクラブチームができました。卓球タイムは1週間に1回必ずニューライフアリーナ龍ヶ崎で卓球をできる日を作ろうねって作られた教室といいますか、練習場所です。木曜日13時頃からやっていますので、その時にお越しいただければ必ずアリーナで卓球ができます。その中でラージボールをやっている方もいらっしゃいます。
吉野委員	そうですか、わかりました。
田蓑会長	その他ございますでしょうか。 先ほど吉野委員からのご意見で、スナッグゴルフに似たようなスポーツがいくつかあるので何かまとめると、その点について今市としてお考えはお持ちですか。それとも、今のところはないですか。
事務局	市としては、各競技というのは各々が選んで選択して事業を進めるものだと思いますので、市で何かをまとめましょうというのは今のところ考えておりません。ただ、今後大会をやるなど大きくなってくれば、どこにどう力を入れていくか、いろいろ検討していく必要があるかなと感じています。
田蓑会長	はい、ありがとうございます。 北海道が盛んであったり、ここには出ていませんが、長野県菅平ではマレットゴルフというのが盛んで、総理大臣杯まで開催されています。 随分昔になりますが、ゲートボールが一斉を風靡した時もありました。現時点で龍ヶ崎市としては、様々な似たようなスポーツがあっても、まずはやっていただく機会を設ける。その中から、非常に盛んになって競技者といえればいいのか、愛好者といえればいいのか分かりませんが、そういう方が増えてきて要望が出てくれば、その時に考えるということよろしいですか。 はい、ということでございますので、お答えになってますでしょうか。
吉野委員	よろしいですか。残念ながら今龍ヶ崎市はほぼ100%グラウンド・ゴルフです。競技の主体が長寿会、高齢者になります。だから、例えばパークゴルフのようなことをやっている方はいないし、今100%グラウンド・ゴルフです。
山崎委員	すみません。
田蓑会長	どうぞ。
山崎委員	グラウンド・ゴルフだけではないです。ふれあい公園ではディスクゴルフなどをやられている方も何人かいますので、決め付けない方がいいと思います。現にゲートボールをやっている方もいます。確かにグラウンド・ゴルフをやる方は増えております。これはどこでもできて準備が簡単というのがあると思います。
吉野委員	話の途中すみません。ゲートボールとグラウンド・ゴルフは全然競技が違います。
山崎委員	簡潔に言いますと、以前龍ヶ崎はゲートボールがものすごく盛んでした。それが色々な問題が生じ、衰退している。その中身については私もわかりませんが、競技は別ものです。様々な競技があってもいいと思います。
吉野委員	ちょっと待ってください。
山崎委員	やられる方はそういう形でゲートボールからグラウンド・ゴルフに移った方もいます。様々な立場、立場で変化した部分を認識しないと、あっちはダメ、こっちはダメというのはありえない話で、いろいろなものをしていただいて、その中から一つのものではなくても皆さん一生懸命楽しんでいきますので、決め付けるっていうのはやはり私は賛成できません。
吉野委員	よろしいですか。私も年老いてですね。高齢者の競技は4種目あります。グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、輪投げ、ペタンクです。全部競技が違います。今、グラ

	<p>ウンド・ゴルフとゲートボールとおっしゃいますけど全然別競技です。</p>
山崎委員	<p>ちょっと待ってください。わたし、そんなこと一言も言ってないです。色々な選択肢があるでしょうと。ゲートボールをやりたい方はゲートボールをやりますし、スナッグゴルフ、グラウンド・ゴルフをやりたい方もいます。やりたいものはそれぞれ変わるので、決め付けることだけは我々はこの会議の中でできないと思います。自由な選択があるからできるのであって、これをやらないといけないとなると、それなら皆さんやらなくなります。</p>
吉野委員	<p>これくらいにしておきます。</p>
田蓑会長	<p>その他ございますでしょうか。</p> <p>非常に抽象的になりますが、昔という言い方をさせていただきます。昔と比べると様々なスポーツが出てきています。知らない中で選択をするということではなく、ニュースポーツについても新たに龍ヶ崎独自のものも出てきました。以前はなかったわけですが、まいりゅうコロコロをやってみて、いいなって思えばまいりゅうコロコロをやればいい。それ以外の既存のスポーツをやりたいと思えばやればいいですし、やはり、お聞きになった方がいらっしゃると思いますが、ダイバーシティの世の中です。多様性を重視するということに基づけば、スポーツの種目も同じような形態であったとしても、違うものは違う。今までやってきたが少し思っているものと違うな、なんか合わないな、だけど、同じようで違うスポーツをやってみたらしっくりきたので続けよう。</p> <p>結局、スポーツすることによってその人それぞれが求める目標、目的が違います。例えば健康になるためにスポーツする人もいれば、まさにこれからの季節はビールを美味しく飲むためにスポーツをやる。それを、何でビールなんか飲んで、健康に悪いから止めるなんてことは言えない。どんな思いがあったとしても、スポーツに親しむ人を1人でも増やす。行政としては増やすですが、我々としては増えてくれたらいいなと思います。委員の皆様にもご理解頂いて、少しでもこうスポーツで一回きりの人生を豊かに生きていくと。ざっくりとしていますが、同じ方向を向いて頂ければなというふうに思っている次第でございます。</p> <p>今日は議題が一つですが、その他にご質問ございますでしょうか。特にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の進捗管理については以上といたします。</p> <p>次にその他についてでございます。事務局より別紙「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」推進事業について、説明があるそうですのでお願いいたします。</p>
事務局	<p><b>(1) その他「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」推進事業について</b> 〔会議資料に基づき説明〕</p>
田蓑会長	<p>ありがとうございます。この件について何かご質問等ございますでしょうか。</p> <p>私から1点よろしいですか。1ページの1番上。本事業は、「スポーツライミング」をまちづくりの柱の一つに掲げ、これだとすごく分かりやすいんですが、タイトルが「スポーツライミングのまち」って言ってます。龍ヶ崎は野球のまちではないんですか。素朴な質問です。</p> <p>スポーツライミングはここ近年の話で、長い間頑張ってきているスポーツ団体が反対しないのかなと思ひ、すごく今心配なんです。大学も一生懸命ラグビー・サッカーをやっていて、様々な形で市民の方にも応援していただいています。いきなり市が龍ヶ崎は「スポーツライミングのまち」って出すと本当心配になってしまっただけ。</p>
事務局	<p>はい。今、野球のまち龍ヶ崎という話もありましたが、当然野球を排除するわけでもございせん。スポーツライミングは東京オリンピックから正式種目になり、次のロサンゼルスでも正式種目となっています。当市には2人の競技の第一人者がいますので、その方と連携した事業を進めたいと思っています。お2人の力をお借りしてマイナースポーツだからこそ、野球やサッカーなど人気スポーツでは難しい大会などを誘致できるのかなと考えております。他のスポーツを排除するのではなく、野口</p>

	さんと檜崎さんと連携した事業を進めたいということでございます。
田蓑会長	どうぞ。
事務局	<p>はい。田蓑先生が心配しているように、龍ヶ崎は本当に野球にサッカー、柔道では金メダルを獲られた方もいますし、非常に市自体がスポーツが盛んなまちであると認識しております。他のスポーツを排除するわけではなく、今まで通り応援したり、支援したりします。</p> <p>現状として、野口啓代さんが日本のクライミング界では本当にトップクライマーで、国を牽引してきました。オリンピックを誘致したと言っても過言ではないのかなって思っています。野口さんが居て、今回檜崎さんもオリンピック出場ということで、この2人の資源を市としてはまちづくりに活かしていこうと思っております。当然スポーツ推進課だけでは推進はできないと思っております。企画部門、商工部門、それから教育委員会、すべての関係者が関わる、非常に大きいプロジェクトになるかと思えます。今回パリオリンピックがありますので、この機会を逃さず、龍ヶ崎といえばクライミングとなるところまではいきたいと担当レベルでは思っています。まだまだマイナースポーツではありますが、ただ非常に競技者も増えてきています。色々な意味で若者のスポーツというところで、音楽だったり、ファッション性だったり、非常に人気も高くなってきている。市として力を入れてやっていきたいなと思っておりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願ひしたいと思っております。</p>
田蓑会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>現役といえますか、まさにもう来月末から始まるオリンピックに出場するオリンピックが居るといことは、これは一つ重要な資源ですので、その資源を使わない手はないと思いますが、例えば、龍ヶ崎市駅に、「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」と出されたら、少し違うなって思ってしまうですね。</p> <p>あとは単なるネーミングの問題です。最終ページにありますように、会自体が立ち上がってこれからということですので、多分今出ている資料というのは、あくまで仮称といえますか、現時点でのものだと思いますので、そこでどういう議論になるのかなというのを見ていきたいと思っております。今居る人を使うのは当然ですが、今後龍ヶ崎出身のオリンピックが別に出てきた際に、例えば卓球でオリンピックが出たら卓球のまち龍ヶ崎にするのか。その都度その都度違うまちにしてしまうのか。それだったらもう少し全体として、中身が出るような形も、今具体的には出てきませんが、そう思った次第です。ありがとうございました。</p> <p>どうぞお願いします。</p>
池田委員	<p>すみません。スポーツ推進委員の池田です。</p> <p>まいりゅうコロコロなどいろいろやってきましたが、これを見て初めて龍ヶ崎はスポーツクライミングのまちになってしまうんだと思いました。ニュースポーツのまいりゅうコロコロを全国大会まで推し進めようと現在普及活動をやっていますが、ニュースポーツはどうなるのかなとか。</p> <p>あと、例えば、鹿嶋はサッカーのまちとして全国的に知られています。あれぐらいやるのであれば、市内にクライミングをする高い壁を作り、合宿所も作り、全国からクライミングをやるなら龍ヶ崎。龍ヶ崎に来れば野口選手や檜崎選手に教われる。そこまでやるのが目標の中の一つかと思っておりますが、今からプロジェクトチームを立ち上げて、どれぐらいの期間でそれぐらいまで出来るのか、構想はお持ちなんですか。</p>
事務局	<p>まず、基本構想を今年度3月までに作りたと思っています。こちらの事業については、国庫補助で資金のほうを確保しようと思っています。3年間の国庫補助がありますので、その3年間について採択となれば、アリーナで例えば全国規模の大会や世界規模の大会などを誘致していければなと思っています。いきなり建物を建てる、アリーナなどに専用競技場を造ることはとても今の時点では無理だと思っていますので、ソフト事業を中心的に実施していきたいと思っています。</p>
池田委員	クライミングができる年代層、小学生、中学生、高校生、大学生、あと社会人の方



	<p>もいらっしやると思いますが、40歳過ぎると本当に捕まる力が無くなり、無理ですよ。これから龍ヶ崎市でクライミングを推進するならば、どの世代の方でも気軽にボルダリングのホールドに触れる機会や、高齢の方でも出来るクライミングの仕方を指導していただいたり、初心者向けなども考えられると思いますので、そこの試案の方はよろしくをお願いします。</p>
田籾会長	<p>今、池田委員がおっしゃって頂いたことはすごく大切だと思います。岩手県釜石市はラグビーのまち。ここは本当に幼児からお年寄りまでやっています。ゴールドのパンツを履いているお年寄りにはタックルしてはいけません。その人にボールが回るとトライするまで周りは転ばないように、転んだ時にも怪我しないようにサポートしないとイケないような。だけど、ラグビーのまちだからできる。清水に行けば当然サッカーのまちで、そういう雰囲気です。</p> <p>今ソフト事業ということでしたが、やはり長期的にみて、ゆくゆくはひと目見て年齢関係なくいろんな方が登っている、そういうところまで視野に入れて頂ければ菅平のように、あるいは波崎のようになっていくのかな。菅平はもう旅館が補助金を使用しています。ラグビーグラウンド、何面ありますか、凄いです。あの光景を気に入って、2018年のラグビーワールドカップのときにイタリアチームが事前合宿をやりました。世界中見てもなかなか無いということらしいです。私はラグビーが専門ではないので分かりませんが、直接イタリアラグビー協会の方に聞きましたので、そうなんだなあと思いました。</p> <p>まだ一歩踏み出していません、これから出そうかっていうところですよ。当然市民の皆様がクライミングを考える、やってみる、そういったものを調整していかないと、このような事業はうまくいかないと思いますので。競技の普及には小学校などにご協力いただいて、例えば学校教育の中で体験できる場を調整させていただくなど、この事業について推進していければなというふうに考えております。以上です。ありがとうございます。</p> <p>その他ご意見、木村先生ございませんでしょうか。</p>
木村委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>今学校関係というようにお話がありましたので。学校でも本当にこのようなスポーツを取り入れて子供たちにやらせたいなという思いはあります。クライミングはなかなか特殊なので難しいと思いますが、もう数年前になりますが、北文間小学校がまだあった頃、学校の中に特設の会場を作っていただき、そこで子供たちが実際に野口啓代さんに教えていただいた記憶があります。非常に子供たちも喜んでいました。それから数年経っていますが、また子供たちがやれるといいなあとという思いがあります。少しクライミングと離れてしましますがよろしいでしょうか。</p>
田籾会長	はい。
木村委員	<p>学校として、今この説明をお聞きしながら、まず、龍ヶ崎は非常に恵まれた環境だなと。他市町村で勤務して、ここに来たときに本当に思いました。何がって、やはり大学。流通経済大学があり、龍・流連携で学生が学校に来てくれて、タグラグビーを子供たちと一緒にやってくれます。毎年、毎年やっていただいています。あと、私、大宮小学校ですが、地域との運動会をやっています。そこにも学生が来てくれて応援してくれます。いろいろなお手伝いをしてくれ、これも助かっています。施設についても、今プールの授業はたつのこのプールをお借りしています。非常に施設も整っていて、こんな恵まれた環境の中で子供たちがスポーツに勤しめるって本当にありがたい。他市町村と比べて、こんな恵まれた市はないかなと思っています。このような環境の中でどんだんスポーツに親しませて、そういったレベルを上げていきたいなと、感想ですが思いました。ありがとうございました。</p>
田籾会長	ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。
石川委員	いいですか。
田籾会長	はい、どうぞ。

石川委員	すみません。今のスポーツクライミングの計画ですが、クライミングの壁はどこに作る計画とかまだ立てていないですか。
事務局	計画には今ないです。構想の中で中長期的にどのような方法で建てるか検討中です。全然決まっていませんが、例えば今あるサブアリーナに増設するなども含めて、中長期、短期で検討していく予定です。可能であれば、助成事業を使って各小学校に設置することも、今後構想の中で検討していきたいと思っています。
石川委員	東京オリンピックの時に仮設でアリーナのメインにスピードの壁が造られました。申し訳ないですが、他の競技をやる方にとってはとても邪魔でした。クライミングに来ている方も悪い方ではないですが、荷物を至るところに散乱させていたので、「申し訳ないですが、ここ使いますのでもう少し避けてもらえますか」と言うと、「今から野口さん来ますよ」って言われました。申し訳ありませんが、私たちにとって野口さん関係ないです。東京オリンピックの前だったので、オリンピックでメダル獲ってくれたことは嬉しいですが。 例えばクライミングのまちとするには、今あるサブアリーナの壁ではとてもお粗末だなと思います。また、あそこでスクールもやっています。その時間私たち居ますが、人員は少ないですね。あのままではとてもクライミングのまちとしてうたうには少しお粗末かなって感じはします。アリーナのメインに建てるのは止めてください。すみません。それだけお願いします。
田籾会長	その他ございますでしょうか。
山崎委員	はい。クライミングのまちにしたいという野望ですよ。その第一資源が野口さん。正直我々も野口さんが長年苦労されていたこと、どの辺まで理解しているかって言われると困ってしまいますが。彼女が高校1年生2年生のときに、世界のジュニア大会で優勝した際には、スポーツ協会として真っ先に表彰しております。その時からわたしを含め、非常に興味を持っていた方もいます。彼女は本当に日本のクライミングを世界的なものにしたのは間違いないです。現実に海外の選手でも彼女の一声で何十人っていう方が来るのも事実だと思います。今ご夫婦でやられていて、檜崎さんの弟も日本でもトップクラス。その人材を利用するのは非常に良いことだと思います。人材を利用しながら、活用しながら、皆さんでいかにフォローしていくか、その体制を作ることが一番大切かなと思います。正直、施設については野口さんのご自宅のほう世界的だそうです。先日たまたまテレビ番組でやっていましたが、檜崎さんがご自分で、お義父さんが作られた設備ですが、「この設備世界でも優秀な設備です」と言うぐらい自信を持って言っていました。現実にそれを利用する手立てもできないことはないかなと思います。慌てて色々やってしまうと失敗することもありますので、一つ一つ彼女を立てながら、彼女をうまく活かしていただければ、そこに自然と人が集まると思いますので、その辺は決して間違えないようお願いできればいいかなと思います。
田籾会長	ありがとうございました。決して反対しているわけではないので、そこは前向きに。やはりスポーツ文化を根付かせようとするならば、そこは、きちんとスポーツクライミングの文化、これを根付かせることを考えないと。ただ造った、競技者が増えた、これはもう一過性のブームで必ず終わってしまいます。そこにどのような文化を根付かせるか。これは本当にまず、市をあげてやらないと。先ほど石川委員からお話がありましたが、マナーの問題なども含めて、きちっとしていかないと、気づいたときにはもう無くなる。これはスポーツの歴史が証明しておりますので、ぜひ、どこかできちっと押さえながら進めさせていただければと思います。 その他ございますか。随分と長くなりましたので、なければこれでその他の議事については終了したいと思います。よろしいでしょうか。ないようでしたら、以上をもちまして本日の議事を終了させていただきます。どうもありがとうございました。
事務局	慎重審議ありがとうございました。それでは以上をもちまして、令和6年度龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会を閉会させていただきます。 本日はどうもありがとうございました。

